

# インフルエンザ予防接種受診時の注意事項

インフルエンザ予防接種は発病防止や重症化防止に有効とされていますが、本人が接種を希望する場合のみ行います。希望する方は、医師の説明をよく聞き、必要性や副反応の可能性などを十分理解し、納得した上で接種するようにしてください。

## 【 新型コロナウイルス感染防止対策 】

1. 必ずマスク着用でご来場ください。
2. 来場前に熱を測っていただき、37.5℃以上の発熱がある場合は来場しないでください。
3. 入退出時には必ず手指消毒をしてください。
4. 会場内の3密を防ぐため、必ず予約した時間帯にご来場ください。
5. 会場内は私語厳禁とさせていただきます。

## 【 予防接種ができない方 】

1. 発熱のある方（37.5℃以上の発熱）
2. 重い急性疾患にかかっている方
3. インフルエンザ予防接種の成分によってアナフィラキシー（呼吸困難、じんましん、血管浮腫等）を起こしたことが明らかな方。
4. その他、予防接種を行うことが不適当な状態にある方。

## 【 予防接種を受ける時に注意が必要な方 】

1. 心臓・じん臓・呼吸器機能、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に重い障害のある方。
2. 基礎疾患を有する方。
3. 妊婦の方。

## 【 インフルエンザ予防接種の持続期間 】

予防接種後、抵抗力がつくまでに2週間程度かかり、その効果が十分に持続する期間は約5ヵ月間とされています。

## 【 インフルエンザ予防接種後の注意事項 】

1. 予防接種後10分間は会場で休憩していただきます。
2. 入浴は接種後1時間過ぎたら差し支えないが、接種部位をこすらないように注意してください。
3. 接種部位が赤く腫れたり、熱感を感じることもありますが、通常2～3日で消失します。
4. 微熱、悪寒、頭痛等ある場合がありますが、通常2～3日で消失します。  
※39℃以上の発熱の場合は病院で受診してください。
5. 激しい運動、大量の飲酒は、ワクチン自体で体調の変化をきたす恐れがあるので接種後24時間は避けた方が望ましいです。

## 【 インフルエンザ予防接種の副反応 】

1. 重大な副反応
  - 一. ショック、アナフィラキシー様症状（接種後30分以内）
  - 二. けいれん、急性散在性脳脊髄炎、肝機能障害、喘息発作
2. その他の副反応
  - 一. 過 敏 症：発疹、じんましん、紅班、かゆみ、（接種直後から数日中）
  - 二. 全身症状：発熱、悪寒、頭痛、倦怠感等（通常2～3日中に消失）
  - 三. 局所症状：発赤、腫脹、疼痛等（通常2～3日中に消失）
3. 健康被害救済制度について  
予防接種による副反応により、医療機関での治療や生活に支障が出る障害を残す健康被害が生じた場合は、保障を受けることができます。

以上